制御用ケーブル

訂正票

位置	誤	正
2. b) 1)	“火災発生時の安全性”を…(略)…挙げられるため…	“火災発生時の安全性”を…(略)…挙げられるため…
3.2 e)	規格値は、平成9年12月18日付け消防庁告示第10号及び第11号で規定されている耐火・耐熱電線・ケーブルのシース要求値を採用した。	規格値は、 JIS C 0081 （環境試験方法－電気・電子－耐火性試験－煙による光の不透過度の測定－小規模静的試験方法－材料）で規定されている要求値を採用した。
3.4	<p>a) 加熱変形 加熱変形の荷重は、用品基準に合わせた。</p> <p>b) 発煙濃度 試験方法は、JIS C 0080（環境試験方法－電気・電子－火災危険、火災のもつ潜在的・偶発的危険の試験方法－火災に遭った電気製品からの煙による光の不透過度に起因する視界のさえぎりの評価に関する指針及び試験方法：小規模静的試験方法－煙による光の不透過度測定－試験装置の記述）を採用した。</p> <p>c) 燃焼時発生ガスの酸性度及び導電率 燃焼時発生ガスの酸性度及び導電率の試験方法は、JIS C 3666-2の9.2（簡易手順）を採用した。</p>	<p>a) 耐寒性 耐熱性ポリエチレンシースケーブルにて、耐寒性試験の冷却温度は、平成14年4月1日施行の用品基準に合わせて$-15^{\circ}\text{C}\pm 0.5^{\circ}\text{C}$とした。</p> <p>b) 加熱変形 加熱変形の荷重は、用品基準に合わせた。</p> <p>c) 発煙濃度 試験方法は、JIS C 0081を採用した。</p> <p>d) 燃焼時発生ガスの酸性度及び導電率 燃焼時発生ガスの酸性度及び導電率の試験方法は、JIS C 3666-2の9.2（簡易手順）を採用した。</p>
3.5	<p>a) …(略)…</p> <p>b) 法律で決められている表示は、…(略)…</p>	<p>a)の表示を削除</p> <p>b)の全文を削除</p>

訂正票とは、解説に対する正誤を表します。

平成15年4月14日作成